

共通戦略2	新たな可能性を切り拓く多様な連携の推進
-------	---------------------

施策4	行政・関係機関との連携による課題解決支援の強化
-----	-------------------------

1 令和5年度 施策の方向性
事業者や地域が抱える課題は高度化・多様化しており、行政においても商工業振興に関する課題解決のため、様々な施策を展開している。そこで、政官財との連携体制構築による地域の課題解決及び行政等との連携強化による経営の課題解決を目指す。

**2 事業概要** ※ ( ) は活動目標値

<p>(1) 政官財連携促進事業                  商工会、行政、公的機関、団体等の政官財が連携して地域課題の解決に取り組むため、連携内容や手法について検討した。</p> <p>■活動内容 ・地域課題解決のための施策や行政との連携方法について、県連合会や他機関との情報交換を行った。</p> <p>■達成状況 ・政官財連携による協議（協議）                  県連合会・21商工会「秋田の未来を創る協議会」                  ▽協議会設立会議（R5.10.23）                  ▽中央地区部会（R6.2.10）</p>
<p>(2) 小規模事業者振興施策要望実現促進事業                  業種・業界で抱える高度な経営課題や地域の賑わい創出のための施策など、アンケートにより幅広く意見を集約し、行政に対して支援策を要望した。</p> <p>■活動内容 ・商工会員に対し「物価・エネルギー価格高騰等支援策」アンケートを実施し、経営状況・景況感の把握及び行政への要望について情報収集を図った。                  ・上記アンケート集計結果及び職員からの支援施策要望の意見収集を行った。                  ・市行政との情報交換を行った。                  ・理事会役員会にて要望内容確認等を行った。</p> <p>■達成状況 ・アンケート調査・分析：1回（1回）                  ・支援施策の要望：24施策（10施策）                  ・行政への要望実現数：4件（2件）                  実現した要望事項                  ▽キャッシュレス決済導入の促進                  ▽経営革新型事業承継を促進する支援策の創設                  ▽創業を促進するための支援策の強化                  ▽新たな人材とのマッチング支援事業の実施                  ・行政との連携事業の実施数：3回（3回）                  ▽商工会主催「潟上市企業就職説明会」（施策9）                  ▽商工会主催「地元のイチ推し！秋空特産品マルシェ」（施策3）                  ▽市主体「移住定住に関する相談コーナー」</p>

3 施策目標及び達成状況					
施策目標	実績値（目標値）				
	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
(1) 行政への要望実現数 <small>政官財との連携協議により提案された要望実現数</small>	未集計 (-)	4件 (2件)	(2件)	(2件)	(2件)
達成状況	-	達成			
(2) 連携事業の実施数 <small>連携先（行政、近隣商工会、外部機関、県、大学等）との共同事業数</small>	3回 (3回)	3回 (3回)	(5回)	(5回)	(7回)
達成状況	達成	達成			

**4 施策目標に関する検証**

<p>(1) 行政への要望実現数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・小規模事業者振興施策要望実現促進事業                  アフターコロナ、そしてエネルギー価格・物価高騰等の影響を受けて疲弊する事業者に対する具体的な支援策を数多く要望できたこと。また、市行政の理解を得て要望事項が実現化できたこと。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・小規模事業者振興施策要望実現促進事業                  令和4年度要望数に対し、要望実現数の半数以下に留まったこと。                  （要望数17施策に対し、要望どおり実現となったのは4施策。また、一部実現は3施策）</p>
<p>(2) 連携事業の実施数</p> <p>《効果があった事業及びその内容》 何が良かったのか</p> <p>・政官財連携促進事業                  県連合会主導のもと「秋田の未来を創る協議会」が設立され、県・市職員、県・市議会議員や若手女性経営者等による活発なディスカッションが行われたこと。</p> <p>・小規模事業者振興施策要望実現促進事業                  景況アンケートを通じて市行政と情報交換を行い、事業者が直面する課題等を共有できたこと。</p> <p>《検討の余地がある事業及びその内容》 何が悪かったのか</p> <p>・小規模事業者振興施策要望実現促進事業                  事業実施に際し、創業ゼミやスタンプラリー事業といった市に関連した事業について、市行政と連携した内容に拡げられなかったこと。</p>

**5 次年度への改善点**

<p>(1) 政官財連携促進事業                  政官財の有効な連携方法に関する情報収集を図り、協議会等の場面で情報交換を図っていく。</p>
<p>(2) 小規模事業者振興施策要望実現促進事業                  日常的に会員事業者の経営状況の把握に努め、その内容を要望書に反映していく。</p>